

北海道大学21世紀COEプログラム
「流域圏の持続可能な水・廃棄物代謝システム」

COE 廃棄物代謝グループ特別講演会

廃棄物処理における

Research Needs

『何を研究すべきか』

‘04
12/03

日時 平成16年12月3日(金)
14:00 ~ 17:00

場所 工学部 B11 教室
(ロビー入ってすぐ)

参加費 無料
(簡単な通訳付き)

講演者

■**Prof. Anders Lagerkvist** (ルレオ工科大学、スウェーデン)
ヨーロッパ最大の埋立地研究グループのボス。
バイキングの子孫。

■**Prof. Morton Barlaz** (ノースカロライナ大学、米国)
米国における廃棄物研究の第一人者。
生物処理から LCA まで幅広い研究を行っている。

■**Prof. Rainer Stegmann** (ハンブルグ工科大学、ドイツ)
EU の廃棄物政策のブレーンの存在。現在の政策は、
彼の提言によるところが大きい。

■**Dr. Luis F. Diaz** (CalRecovery Inc, 米国)
廃棄物関係で最も権威ある論文誌 Waste Management のチーフエディタ。資源化、途上国の廃棄物問題に詳しい。

趣旨

廃棄物処理はわが国のみならず、また先進国、途上国を問わず大きな社会問題となっている。「ごみ」といっても一般家庭のほかさまざまな産業から多様な種類の廃棄物が発生し、それらの発生抑制から最終処分に至る処理・処分の選択肢も多い。「何を優先的に検討すべき」なのだろうか。また、廃棄物問題の変化はきわめて激しく、研究が後追いになりがちである。「これからどのような方向へ進めばよいのか」、「そのためには何を研究対象とすべきか」を真剣に考えるべき時期に来ている。

今回の講演会は、講師として世界的に著名な4人の研究者を迎える。それぞれが考える Research Needs について語ってもらい、背景としての各国(あるいは世界)の現状と問題点にも触れてもらう。廃棄物問題に関する知識を高め、共通点を認識し、将来を見通した戦略、研究のヒントが得ることを目的としている。

●申し込み方法：氏名、連絡先（勤務先あるいは自宅の住所、電話番号、E-mail アドレス等）を Email あるいは FAX で下記申し込み先にお送り下さい。なお、当日参加も可能です。

●連絡先：

松藤敏彦 北海道大学大学院工学研究科 環境資源工学専攻 廃棄物資源工学講座 廃棄物処分工学分野
Email : matsuto@eng.hokudai.ac.jp tel/fax : 011-706-6827

主催：北海道大学21世紀COEプログラム「流域圏の持続可能な水・廃棄物代謝システム・廃棄物代謝グループ」

